

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連機関による環境対策への提言を行う独立組織「持続可能な東京 2020 評価委員会」(仮) 設立と運営

イベントの 延べ参加者数	250 人
助成活動がメディア に掲載された回数	20 回
活動の全体目標 に対する達成度	60%



国際会議「東京はロンドンを越えられるか」

◆成果と工夫したポイント

- 成果** WWF ジャパン・自然エネルギー財団が、共同声明「東京はロンドンを越えられるか」を発表。国際会議登壇者の取材は、AP 通信によって英字媒体へ広く配信。また朝日、毎日、日経新聞など国内紙にも掲載された。
- 工夫** 持続可能な東京大会に取り組む各団体が会議の場で一堂に会し、問題点を共有し、意見交換を始める契機とした。

課 題

五輪開催東京招致の際は、環境対策について意欲的な高い目標が設定された。これを実現に導いて、低炭素社会に貢献するため、環境団体や関連企業などと連携して提言を行う。

活動内容

2015 年 4 月に WWF ジャパンと国際会議を共催。招致の際、東京が環境面で世界に約束した、3 本柱や具体的取組みを明確にし、「持続可能なロンドン 2012 委員会」の事例を紹介した。また、ロンドンでは様々な NGO や地域団体、民間セクターなどの団体による参加とパートナーシップの重要性、それらが、持続可能な大会運営を実現させる鍵になったことなどが確認された。東京大会関連機関にも直接、間接的に提言を行った。



WWF ジャパンと自然エネルギー財団の共同声明

今後の課題

東京大会関連機関による環境対策計画発表の状況、その内容や取組みへの注視を今後も続け、各団体と連携して提言を行う。